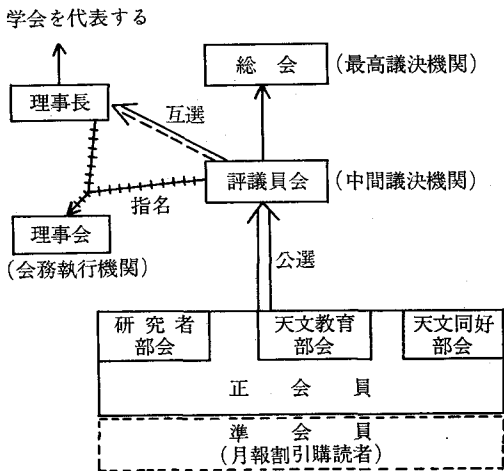


日本天文学会の組織と運営に関するアンケートのお願い

日本天文学会運営検討委員会

委員長 小暮智一

はじめに 昨年10月に京都で開かれた日本天文学会臨時総会を機として学会の組織を再検討し、運営を改善しようという機運がつよくなり盛んになってきました(臨時総会をめぐる問題については本誌43年12月号参照)。運営検討委員会はこの問題の検討を任務とする理事長の諮問機関として発足し、すでに3回にわたって会合が開かれました。(第2回までの討議については本誌44年2月号参照)。そのなかで通常会員の側からアマチュアにたいする学会のサービス不足が指摘され、ここにも問題のあることが明らかになってきました。委員会では天文学会の伝統を尊重して学会を研究者・アマチュアからなる統一体とし、民主的な運営をはかるために評議員会などの議決機関は公選制にする、という基本方向で検討をすすめています。第3回会合では二三の提出された意見書ないし試案についての検討ののち、今後の全会員による討論の土台として、第1図のような形を試案として採りあげることになりました。この案について広く会員諸氏の御意見をお聴きしたいというのが本アンケート作製の趣旨です。検討委員会はその集計結果にもとづいて組織の大綱を再検討し、また、さらに肉付けを行ない、本年5月の定例総会までに基本方向についての答申を行ないたいと希望しています。会員諸氏の御協力をお願い致します。



第1図 天文学会組織改正試案

学会組織案(第1図)の要旨

(1) **会員**を正会員(現在の特別会員、通常会員の大部分)と準会員(月報の割引購読者)に分ける。正会員は会の運営に参加できる。

(2) **部会制**には研究者部会のほか、必要に応じて天文教育部会、天文同好部会などをおく。研究者部会は学術行政、研究交流など天文学の研究活動をすすめる上で特に必要な問題を審議する部会で、一定の資格をもつ研究者によって構成される。天文教育部会は小・中・高校、大学教養課程での天文学教育振興のために、また、天文同好部会はアマチュア間の交流と自主的活動のために、それぞれ必要性の予想される部会である。会員は2つ以上の部会に属することもできる。部会の運営と評議員会との関係は今後の検討すべき問題である。なお、研究者部会員の資格としては、欧文報告またはそれに準ずる学術雑誌に論文を提出受理されたものという案や、構成員をひろくする意味で研究者部会員による推薦制とし、各種研究会集録などの和文論文の発表者、年会発表者を推薦の対象とする、といった案が出されている。

(3) **評議員会** 現行どおり総会につぐ学会の議決機関とする。評議員は正会員のなかから公選される。現行では評議員は特別会員中から選ばれ、特別会員が会の運営と責任を負っているが、これを正会員全体に拡げた場合、評議員会の構成をどうするかが大きな問題であろう。例えば部会代表制を加味するとか、評議員会に各部

会代表の人数を割当てた上で公選にする、といった方法も考えられよう。そのほか公選の場合、選挙区、被選挙権(新入会員に一定の年限をおくとか、成年者に限るとか)なども問題となる。

(4) **理事会と理事長** 第1図では理事長は評議員の互選とし、理事は評議員会の指名制になっている。理事を理事長の指名にするという案もある。また、理事の選任については二つの意見がある。ひとつは評議員が理事を兼ねるべきであるというものである。理事会は庶務・会計・編集などの会務を執行する機関であるから、会務執行には公選された評議員が責任をもつべきである、というのがその論拠である。もうひとつの意見は、評議員会が責任をもてば会務執行には支障ないこと、理事の選任が容易であること、などの点から、理事は評議員内外から適当に指名依頼する、というものである。運営検討委員の間では後者の意見が有力になっているが、なお、検討の必要はあるであろう。

(5) **研究連絡委員会**との関係 天文学会ないし研究者部会と研究連絡委員会との関係のあり方は残された大きな問題であり、今後の慎重な検討が必要であろう。

アンケートの記入について このアンケートは中間的なものですが、今後の検討の重要な資料とするものから、意見をそえた積極的な御回答をお願い致します。

記入法: 次頁のアンケート用紙に御意見のある部分を御記入のうえ、無記名で下記のとおり御回答下さい。

締切: 昭和44年3月20日

送り先: 東京都三鷹市大沢(郵便番号 181)

東京天文台内 日本天文学会アンケート係

アンケート用紙

(1) 現在、日本天文学会の目的は研究および普及となっています。これは研究者とアマチュアが一体となって学会を構成するという考え方だと思います。この基本方針は今後もつづけて行くべきでしょうか。

(2) 学会の運営は会員の総意にもとづいて行なわれるべきですが、そのひとつの保障として評議員などの主要役員は会員一般からの公選による、という意見に賛成でしょうか。また、賛成の場合、公選にともなう問題点について御意見があればお書き下さい。

(3) 学術行政や研究交流など、研究活動をすすめる上で必要な協議を行なうために、学会内に研究者部会を置くという意見に賛成でしょうか。また、賛成の場合、部会の構成、部会員の資格などについてどう考えられますか。

(4) 天文教育、天文同好者の活動について学会のとりくみを活発にするために部会制をとるのが望ましいと思われませんか。また、部会がおかれた場合、あなたはどれかの部会に参加することを希望されるでしょうか。

(5) その他の意見

(6) あなた御自身について

年齢 () 歳

職業・身分 (いずれかに ○ をつける)

イ なんらかの形で天文学に関係する (具体的に書いて下さい) ()

ロ 天文学に関係ない

ハ 学生 (中学・高校・大学(教養・専門)・大学院)
(天文学専攻の学生はイに該当します。またアマチュアとして活動しておられる人はイに回答して下さい)

会員の種類 (該当するものに ○ をつける)

イ 通常会員, ロ 特別会員,

ハ 終身会員, ニ 名誉会員

学会に入会后何年になりますか () 年